

本校の進路指導に関する新聞記事が掲載されました③

本校の進路指導への取り組みについて過日共同通信社より取材を受けました。

令和3年7月24日付「長崎新聞」に新聞記事が掲載されました。

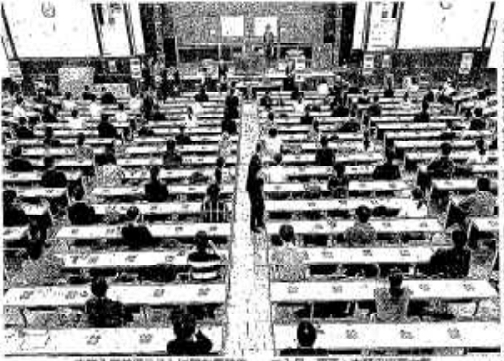
紙国福集・久保川清光
(前・長崎県立大学教員)

長崎新聞 2021年(令和3年)7月24日 土曜日

18

特集 転換期の大学入試

「全入時代」も現実味



大学入学共通テストに臨む受験生。1月、福岡・本部の長崎大学

共通テスト巡る混乱

入試改革で初年度となった大学入試。共通テストを巡る混乱が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2021年度(令和3年)入学者の大学入試は、これまでとは大きく異なる様相を呈した。受験生や大学の両者、関係者から、入試改革の混乱が、入試改革の本来の目的を失っている、という声も聞かれた。

一方、左に示すように、長崎県立長崎大学は、入試改革の混乱を、入試改革の本来の目的を失っている、という声も聞かれた。

新型コロナ感染拡大

教育現場では、入試改革の混乱が、入試改革の本来の目的を失っている、という声も聞かれた。

今春入学分の大入試の主な特徴

受験人口減に伴う志願者数減で競争緩和
大学入学共通テストは平均点上昇
大規模な入試改革を実施した初年度で、入試改革の混乱が、入試改革の本来の目的を失っている、という声も聞かれた。

Q&A

大学入試改革、要は「全入時代」の到来か?
入試改革の混乱が、入試改革の本来の目的を失っている、という声も聞かれた。

河合塾の近藤治氏

河合塾の近藤治氏は、入試改革の混乱が、入試改革の本来の目的を失っている、という声も聞かれた。

来年度入学者も競争緩和期待

2021年度(令和3年)入学者の大学入試は、これまでとは大きく異なる様相を呈した。受験生や大学の両者、関係者から、入試改革の混乱が、入試改革の本来の目的を失っている、という声も聞かれた。

地元志向、資格系が人気 共通テスト 次回は難化か

今春入試を受けた大学入試の分析では、受験生は「地元志向」が強いことが分かった。また、資格系科目の人気も高かった。次回は難化か、という声も聞かれた。